

◆暮らしサポート サポート・ワン◆訪問介護  
 ナイス・ケア◆通所介護ナイス・デイ◆小規模  
 多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料  
 老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹  
 介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひ  
 ら◆鍼灸てのひら治療院 ◆酸素BOX



vol. 260通信  
 R4年4月7日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス  
 愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036  
 代表TEL：(0567) 26-3921  
 FAX：(0567) 26-3922  
 ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

**問合わせ・見学 大歓迎！！**

＜利用状況案内板（☆募集中★満員）＞  
 ☆ナイス・ケア（訪問介護/介護保険）  
 ☆ナイス・デイ（通所介護/定員10名）

月	火	水	木	金	土
7	6	6	7	6	5

☆ナイス・ホーム(定員17名、現在登録者11名)  
 ☆愛宕の家(定員17名中入居者13名)  
 ☆つしま紹介所(有料職業紹介)  
 ☆サポート・ワン(在宅ヘルパー/自費)

🔴🔴ゴールデンウィーク割り増し期間🔴🔴  
 4/29(金・祝)～5/5(木・祝) 50%増

＜4月行事予定＞  
 上旬 桜花見  
 20日 総合防災訓練

※少しずつ外出等は行っていますが、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、密になる行事は自粛しています。  
 ※今後の行事予定も状況に合わせて変更する可能性があります。ご了承下さい。

＜営業お知らせ＞

喫茶てのひら  
 営業日：月・火・木・金・土・日/水曜定休  
 時間：9:00-12:30(モーニング営業のみ)  
 ※入店制限(10名まで等)あり

酸素BOX  
 営業日：月・火・木・金・土/水日定休  
 時間：9:00-17:00 完全予約制

★コロナ禍により営業休止★  
 ・打太鼓(和太鼓)・コーラス  
 ・ナイス・キッズ(学童・託児)  
 ・鍼灸てのひら治療院  
 ～詳細はお問い合わせ下さい～

自宅で最期を迎える/ナイス・ホーム

5年以上のお付き合いがあったKさんが、先日旅立たれました。Kさんは、大好きなご家族とはひと時も離れたくありません。そんなKさんの気持ちが痛いほどわかるご家族は、「かわいそうやで一人にさせれん」と、こまめにお世話をしてみえました。が、離れる時間がないと親子喧嘩も多発。程よく、ご家族が休息出来る時間を確保しながら、自宅で穏やかに過ごせるように、訪問と通いを中心にした関わりがずっと続いていました。また、精神不安定でご家族からのSOSがあった時は、緊急で、訪問やお泊まりの対応もありました。施設入所を検討された時期がありましたが、『やっぱり自宅で出来る限りみてやりたい』というご家族の気持ちが強く、私たちもお付き合いする事に心を決めました。医療面での心配は、かかりつけの先生、薬局、訪問看護の方々に頼り、ご本人やご家族の気持ちを最大限に受け入れ、関わる皆が臨機応変に対応し続け、一緒に悩み、相談し続けた年月でした。

そんな中、急な体調不良。その翌日に自宅で、大好きなご家族の側で息を引き取られました。ご本人の一番の意向は『家族と一緒に家に居たい』でした。最期まで、そのお手伝いが出来た事に感謝しています。ご冥福をお祈りいたします。(Y・O)

登録家政婦、介護スタッフ、看護師大募集♪

ようこそナイス・デイへ/ナイス・デイ

Yさんと出会って6か月が経とうとしています。Yさんは昨年春頃から認知症状がはじめ、ご本人ご家族共に、約半年の間、大混乱。近所の方に介護サービスの利用を勧められ、10月からデイサービスを利用されることになったそうです。

当初利用された大規模なデイサービスで馴染む事が難しく、10月下旬に小規模デイを紹介され“ナイス・デイ”のお試し利用となりました。小規模とはいえすぐに馴染めるはずもなく…。始めはご家族に連れてきてもらうことから開始。でも、近くの病院が見えると「帰る！」と言われたそうです。“ナイス・デイ”に到着後も、直ぐには車から降りられなかったり…。玄関に入ったかと思うとご家族を追いかけ行かれたり…。午前中は比較的室内で過ごす事が出来ても、午後はどうしても外の車や通行人が気になり外へ…。という四苦八苦&試行錯誤。

3ヶ月を過ぎた頃、週2回の利用から週3回の利用となりました。その頃、ご本人に、「朝、ご家族に送ってもらうのではなく、私が迎えに行くので、一緒に車で来ませんか？と尋ねてみました。「ダメダメ！！絶対ダメ！来ないよ！」とYさん。

もうしばらくご家族に送ってもらう事になりました。またその1か月後、同じ様に声をかけてみると「いいよ！」と快諾。私はとても嬉しかった半面、本当に車に乗ってくれるのかと不安を抱えていました。ご家族も同じく不安だったそうです…。お迎え初日、ドキドキしながら、自宅にお迎えに行くと、すんなりと乗車。こちらが拍子抜けするほど…。

そして、ある日の車内、「一生懸命頑張ってきたのに最期がこれか…。寂しい、悲しい」Yさんが心の声をつぶやかれました。突然のYさんの言葉に私は驚き、何と声をかけたかは、未だに記憶が曖昧ですが、Yさん自身も毎日葛藤してみえると思うと心が痛みます。ご家族は、『とにかく、穏やかに過ごしてほしい』と願ってみえます。この出会いに感謝し、Yさん、ご家族にとって、最善とは何か、試行錯誤しながら、信頼関係を築いて、安心して過ごして頂ける環境を届けたいと思います。(M・O)



外出先では  
 しっかりと春を感じる事ができました

住み慣れた家の力/ナイス・ケア

治療が終わり、退院される事になったAさん。ご家族の支援はあるものの、退院後は、自宅で一人暮らし。体調面や認知機能の低下が気になるため、一旦愛宕の家に入居される事になり、自宅での生活が可能かどうか探りながらの関わりが始まりました。入居中は、愛宕の家に入居になった経緯を理解されている時もありましたが、急に「家に帰ります。」と言われる事も…。急に着替えを始めたり、服が何着も押し入れから出ていたり、排泄の失敗等があったりしてトイレに何回も行かれたり…。正直なところ、私たちは自宅での生活には、不安を感じていました。

さて、いよいよ、自宅での生活が始まりました。私たちは、愛宕の家での訪問から、ご自宅への訪問に変わりました。自宅へお邪魔すると、家の主としてシャンっとされた顔でAさんがみえました。体調や排泄の確認、デイの準備や室内の環境整備のお手伝いで訪問していますが、夜間も排泄の失敗はなく寝具が汚れる事もなく、室内が散らかる事ありません。もちろん、ご家族の支援は大きいですが、住み慣れた家で暮らす力は大きいと感じました。

まだまだ自宅で大丈夫、自宅に戻られて良かったと思いました。「一人で寂しい」と聞く事もありますが、入院前の生活のリズム、習慣を思い出されながら、それを活かし、私たちは最小限のお手伝いで在宅生活が続けられるよう訪問させて頂きます。(K・N)

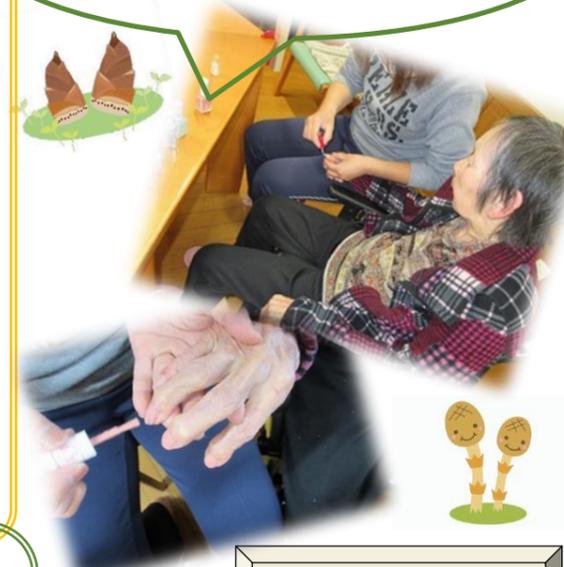
＜編集後記＞

春野菜の特徴は、苦みや香り、甘味が強い事が特徴だそうです。冬の寒さを耐え抜いている野菜たちは、栄養価も高く、冬の間に溜まった老廃物を排出する働きもあるそうです。魚介類も高たんぱく、低カロリーなものがあり、冬から目覚める身体にとって嬉しい食材がいっぱい。食卓に取り入れて、新しい年度を元気に迎えましょう♪(Y・O)

新鮮な野菜は甘いんですよ～♪  
 畑から届いた新鮮なほうれん草や  
 摘み菜。当日の昼食に間に合うよう  
 に、キレイに下処理して、すぐに厨房  
 へ。野菜の準備は皆でやってまーす。



春はお洒落の季節♪  
 身だしなみを整えると気持ち  
 もシャキッとします♪♪



SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。

4月の発送部数 88部